

4年生 道徳学習指導案

日時：6月22日(木) 5校時

場所：4年生教室

授業者：

1 主題名 正直に生きる 内容項目：A 正直、誠実

2 教材名 「ぼくはMVP」 <出典：光文書院 小学道徳 ゆたかな心 4年>

3 主題構成表

内容項目 A 正直、誠実

過ちは素直に改め、正直に明るい心で生活すること。

価値の分析

1 学習指導要領のねらいから

・「正直、誠実」とは、自分の過ちや失敗をごまかさず、正直に明るい心で生活することである。そのため、自分に不利になることでも、自分を偽らずに正直に行動し、明るい心で楽しい生活を築いていこうとすることが大切であると考えます。

2 実施学年における捉えと願い

・4年生の発達段階では、集団の規則を理解して、集団活動に主体的に関与したり、遊びでは、自分たちでルールをつくり、それを守ったりするようになる。また、判断力が高まり、自分のことを客観的に捉えられるようになるため、たとえ自分に不利になることでも、自分を偽らないで正直に行動しようとする心情を育てたい。

3 本学級における捉えと願い

・自分にとって不都合なことが生じると、「叱られたくない。」「自分が損をしてしまう。」等の思いから、正直に行動できず、うそやごまかしによってその場をやり過ごそうとしてしまう児童が見られる。誰にでもある過ちや失敗を素直に認め、正直に行動することで、自分も周りも気持ちよく生活できることに気付かせたい。

内容項目から見た児童の実態(姿・行動)

- ・多くの児童は、正直でいることの大切さを十分理解しているが、実際はうそをついたり、ごまかしたりしたことがある。
- ・行間休みや昼休みの時、思いやりのない言動で相手を傷つけたり、けんかになったりすることがある。その際、自分の非を素直に認めたり、相手に謝ったりすることが難しい児童もいる。

・仲間の不正な行為には敏感で、責めたり批判したりすることがある。

姿の要因(意識・環境)

- ・「叱られたくない。」「自分が損をしてしまう。」等の思いが強く、うそやごまかしで不都合から逃れようとしてしまう。
- ・遊びに熱中しすぎて周りが見られなくなり、衝動的な行動で相手を傷つけてしまう。また、自分の言動を客観的に捉えたり、自分の非を素直に認めたりすることに弱さがある。
- ・相手のことを指摘しやすい人間関係や、周りの意見に同調してしまう雰囲気がある。

教材の分析

1 あらすじと、人間理解

・ドッジボール中、主人公の足にボールがかすったが、そのことに誰も気付いていない。自分からボールに当たったと認め、外野に出るかどうか迷っている主人公の葛藤を理解する。

2 あらすじと、他者理解・価値理解

・周りの雰囲気流され、そのままゲームを続けた結果、自分の活躍でチームは大逆転する。友達からMVPだと言われた主人公の気持ちを考えることで、うしろめたさや後悔、自責の念などの気持ちを理解する。

・主人公は、本当のことを言うか言わないかを議論させることで、「正直に言えば心が明るくなる。」「これからも、うそやごまかしをせず生活できる。」「仲間にも信頼される。」などの価値を理解する。

3 あらすじと、確かな自己理解

・本時の学習について、自分の経験を振り返りながら改善点を考えることで、うそやごまかしは後悔や自責の念につながってしまうと気づき、明るい心で楽しく生活していくためには、自分を偽らずに正直に行動しようとする態度を育てる。

ねらい

本当のことが言えずに悩む主人公の葛藤について考えることで、ごまかしは相手だけでなく自分の心にも嘘をつき、みんなが嫌な思いをしてしまうと気づき、明るい心で楽しく生活していくために、たとえ自分に不利になることでも、自分を偽らず正直に行動しようとする態度を育てる。

気付く (自己・人間理解)	見つける(人間理解) → 広げる(他者理解) → 深める(価値理解)	見いだす (自己理解)	過程
<p>④ 正直な心で生活するために、大切なことはなんだろう。</p> <p>「正直」について考えよう。</p> <p>本当のことが言えず、うそをついたり、ごまかししたりしてしまったことは？</p> <p>ある・・・17人 ない・・・0人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達とけんかしたとき ・忘れ物をしたとき ・ドッジボールをしているとき 	<p>ぼくは MVP 「ぼく」は、これからどうすればよいのだろう？</p> <p>⑤ 「正直な心」とは・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分にうそをつかない。 ・悪いことは、すぐあやまる。 ・いいこともわるいことも、しっかり伝える。 <p>1班 どのようなことでも、正直に話す。</p> <p>2班 その時に、本当のことを伝える。</p> <p>3班 正直に話して、みんなにあやまる。</p> <p>4班 ごまかさないうちに、気をつけて生活する。</p> <p>MVPと言われた「ぼく」は、どんな気持ち？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もやもやしている。 ・どうすればいいのだろう。 ・素直によるこべない。 <p>誰も気づいていないし、気にしなくてもよいのでは？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心がすっきりしない。 ・ドッジボールの時、思い出してしまう。 ・だまっておけば、ばれない。 <p>絵1 主人公の足にボールがかすった場面</p> <p>絵2 主人公が活躍している場面</p> <p>絵3 主人公が「MVP」と言われた場面</p> <p>MVP: 1番活やくした人</p>	<p>⑤ 「正直な心」とは・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分にうそをつかない。 ・悪いことは、すぐあやまる。 ・いいこともわるいことも、しっかり伝える。 <p>誰も気づいていないし、気にしなくてもよいのでは？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心がすっきりしない。 ・ドッジボールの時、思い出してしまう。 ・だまっておけば、ばれない。 	<p>学習活動(板書計画 左から右に)</p>
<p>(・教師の説話を聞く。)</p> <p>・夏休み中の水やり当番の仕事を忘れていたにも関わらず、先生に「やりました」と言って、母親に叱られてしまったことが、今でも心に重く残っている体験談を話し、正直に行動したいという心情を高める。</p>	<p>自己の生き方を振り返る＝自己理解</p> <p>・本時の授業で感じたことを振り返り、自己を見つめる。</p> <p>・「正直に生きる」といふことを振り返り、感得たことやこれから自分について書きまわす。</p> <p>・今までのぼくは、本当のことを言わずに「ごまかしてしまっただこともあったから、これからはどんなことでも正直に話していきたいと思っ。」</p> <p>・自分から正直に言うのは難しい時もあるけど、嫌な思いが続くのはつらいから、弱い心に負けないようにしたい。</p> <p>◎「ぼく」は、これからどうすればよいのだろうか。</p> <p>・正直に言えば、「心が明るくなる」「友達にも信頼される」ということを押さえてまとめる。また、自分の過ちや失敗を「ごまかさないうちで自分の心に正直に行動することで、自分も周りも気持ちよく生活していくことにつながると気付かせる。</p> <p>・グループ交流を行い、自分たちの考えをホワイトボードに記述させる。その後、四枚のホワイトボードを黒板に位置付け、全体交流を行う。</p> <p>◎誰も気付いていないし、みんな喜んでいいるのだから、気にしなくてもよいのではないだろうか。</p> <p>・深めの発問で、一人一人の考えを揺さぶる問い返しをし、自身に目を向けさせることで、「正直であることの大切さ」について、より多面的・多角的に捉えさせる。</p> <p>【深めの発問】</p> <p>他者理解・確かな自己理解・価値理解</p> <p>◎ MVPと言われた時の「ぼく」は、どんな気持ちでいるのだろうか。</p> <p>・ MVP (最も活躍した選手)と言われても、一人気が重くなっている「ぼく」の様子に着目して考えさせる。</p> <p>人間理解・他者理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料の範読を聞き、ゲームが盛り上がっている様子や、場面ごとの「ぼく」の気持ちを確認する。 ・ボールに当たった時に、正直に外に出ようとした主人公の姿を「よさ」として押さえることで「ぼく」に寄り添いやすくする ・一方、いけないと分かっているゲームを続けてしまった弱さへの共感を図る。 <p>【アンケートを活用した課題意識をもたせる導入】</p> <p>・児童が本時考えたい価値を確実に理解するため、事前アンケート「今までの、本当のことが言えず、うそをついたり、ごまかしたりしたことはあるか」を確認し、視点を明確にする。</p> <p>・うそや「ごまかし」をしない生活を送るために、意識していることがあるかを問いかけ、「正直な心で生活するために、大切なことはなんだろう。」と課題につなげていく。</p> <p>本時追究する価値を理解し、自己の生き方を振り返るための導入</p>	<p>指導・援助(基本発問)</p>	<p>指導・援助(基本発問)</p>